

SKY Perfect JSAT Holdings Inc.

News Release



2009年4月16日
株式会社スカパーJSATホールディングス

通信衛星 JCSAT-13 の調達契約締結について ～スカパー！124度後継機とアジア・オセアニアへの展開～

株式会社スカパーJSATホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役社長：秋山 政徳）の100%子会社であるスカパーJSAT株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長：秋山 政徳）は、本日添付のとおり、通信衛星 JCSAT-13 の調達契約締結について発表しましたので、お知らせいたします。

2009年4月16日
スカパーJSAT株式会社

通信衛星 JCSAT-13 の調達契約締結について ～スカパー！124度後継機とアジア・オセアニアへの展開～

スカパーJSAT 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長：秋山 政徳、以下スカパーJSAT）は、東経 124 度で運用中の通信衛星（JCSAT-4A）の後継機の確保及びアジア・オセアニアへのグローバルビジネスの展開を目指し、通信衛星 JCSAT-13 の調達契約を米国の衛星メーカーである Lockheed Martin Corporation（本社：アメリカ合衆国、Chairman, President and CEO：Robert J. Stevens）と、ロケットの打ち上げ契約をアリアンスペース社（本社：フランス、Chairman and CEO Jean-Yves Le Gall）と締結いたしましたのでお知らせします。

スカパーJSAT は、現在東経 124 度（JCSAT-4A）、東経 128 度（JCSAT-3A）および東経 110 度（N-SAT-110）の三機の通信衛星を用いて、CS デジタル放送を提供しており、地上系サービスを合わせて約 370 万件の個人契約件数を有する日本最大の有料多チャンネルプラットフォームを運営しています。JCSAT-13 はこのスカパー！サービスを支える JCSAT-4A の後継機の役割を果たします。

JCSAT-13 は 44 本の Ku バンドトランスポンダ（衛星中継器）を搭載しており日本ビームの他、東南アジアビームと 2 つの可動ビームにより、中近東から南西アジア、東南アジア、オセアニアを広域にカバーします。これによりアジア・オセアニアにおける衛星放送、ブロードバンド通信基幹網、緊急回線、デジタル・ディバイド地域の通信回線などの需要に応じて参ります。

スカパーJSAT の新たなるチャレンジにどうぞご期待ください。

【参考】

1. 衛星バス	LMCSS/A2100AX 型
2. 衛星の主要諸元	(1) 周波数：Ku バンド (2) 衛星中継器：44 本 (3) ビーム/カバレッジ： 日本ビーム/日本全域 東南アジアビーム/インドネシア、マレーシア等 可動ビーム/中近東、南西アジア（インド、パキスタン等）、オセアニア（オーストラリア、ニュージーランド等） (4) 打ち上げ時期：2013 年（予定） (5) 設計寿命：15 年
3. 軌道位置	東経 124 度
4. 打ち上げロケット	アリアン 5 仏領ギアナ、クールー基地より打ち上げ予定

<スカパーJSAT 株式会社>

スカパーJSAT 株式会社は、放送と通信融合のトップランナーとして、アジア最大の 12 機の衛星を保有する、有料多チャンネル放送と衛星通信を提供している国内唯一の事業会社です。加入者数 370 万を誇る日本最大のプラットフォーム「スカパー!」、「スカパー!e2」、「スカパー!光」を通じて多種多様なエンタテインメントをお届けし、日本・アジア・オセアニア・ハワイ・北米をカバーする衛星通信サービスは、「社会の安心・安全・便利」を支えています。

以上